

災 害 （ 現 認 ・ 事 実 確 認 ） 書

○ 年 ○ 月 ○ 日

地方公務員災害補償基金千葉県支部長 様

- ・ 現認者がいる場合、
現認者＝報告者となります。
(被災職員は報告者ではありません。)
- ・ 非常勤職員ではなく、正規職員が作成
してください。(報告者として有効な者
は、基金の補償対象者に限ります。)
- ・ 現認者がいなかった場合に、事実確認
書を提出しますが、この場合でも、報告
者は最初に報告を受けた者が該当しま
す。

報告者 { 勤務先 地方公共団体名及び所属部局・課名
職・氏名 ○○・○○ ○○
居 住 所 ○○市○○ 1 2 3

ついて、下記のとおり災害発生を（ 現認 ・ 事実確認 ）した

記

(所 属)

地方公共団体名及び所属部局・課名

1 被災職員の所属及び職・氏名

(職・氏名)

○○・○○ ○○

2 災 害 発 生 日 時

○ 年 ○ 月 ○ 日 午前 ○ 時 ○ 分ごろ
午後

3 災 害 発 生 場 所

○○市○○ ○○番地

4 災害発生状況（いつ、どこで、どこを、どのように負傷したか等具体的に）

※ 現認した被災状況を、報告者より記載願います。

(例)

総務ワークステーションから千葉県庁舎へ出張中、最寄駅の J R 本千葉駅から徒歩で移動していた
ところ、スマートフォンを操作しながら自転車を運転した高校生が前方から接近して衝突しました。
その際、右手をついて転倒し、また、近くの電柱に頭と首をぶつけていて、かなり痛そうにしており、
特に、右手首を押さえていたので骨折しているかもしれないと思いました。

被災職員の申し立てる災害発生状況と矛盾がない
か、確認してください。
なお、記載する内容は、認定請求書の災害発生状況
と同様に、詳細に記載してください。

5 **現認**・事実確認日時

○ 年 ○ 月 ○ 日 **午前**
午後 ○ 時 ○ 分ごろ

6 災害発生の実事の確認方法及びその際の報告者の状況（どこで何をしていたのか）

※ 報告者は災害をどのような状況及び方法で現認したのか、報告者より記載願います。

(例)

被災職員と一緒に出張中、被災職員の後ろを歩いており、災害を間近で目撃しました。

7 その他

※ 上記の他、補足・特記すべき事項がある場合は記載願います。

(例)

高校生が走り去ろうとしていたので、「ちょっと待ちなさい。今ぶつかったでしょう？ケガをしているかもしれないから、一緒にそこの警察署まで来なさい。」と言い、3人で警察署に向かいました。

警察の事情聴取を受けている際中、〇〇さんの右手首が次第に赤く腫れてきて、かなり痛そうにしていたので、警官に事情を話し、救急車を呼んでももらいました。

その後、事故の顛末を、電話で私から所属の上司に伝えました。

(注1) この用紙は、災害の直接の目撃者又は災害発生を最初に確認した者が作成すること。

その際、() 内の現認又は事実確認に印をつけること。

(注2) 現認とは、災害発生を間近で直接目撃したことをいい、それ以外は事実確認となる。

(注3) 報告者として有効な者は、基金の補償対象者に限る。